

# 論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会  
第 75 号  
2017 (平成29) 年6月17日 (土)

## 私と寺子屋・こども論語塾

おとなじゆくせい やまもと かつら  
大人塾生 山本 桂

息子が小学1年生になり、寺子屋に通い一年になりました。時々、3歳の娘も参加します。

50歳を過ぎ、自分が3人で寺子屋に通うとは思っていませんでした。しかし、共通することは自分から参加したい意志があることです。細かい理由はわかりません。

男子校時代に新田先生が担任になり、英語を学びました。将来外国で勉強したり、働くことを決めていました。そして、実現しました。また、先生はいつも「花には水を、人には愛を」真面目な顔で話していました。子供だった自分は「自分を律し、公私とも真剣に生きる教師なんだ」と思っていました。

日本や外国の大学で学び、そして専門学校や職業訓練所、大学で働き、多くの教育者や学生と交流しました。新鮮で楽しい貴重な体験をしましたが、何か物足りない年月が長く続きました。段々おじさんになり、親になって「新田先生が寺子屋をやっているよ」と高校時代の同級生が教えてくれました。高校時代のお友達は今ではその一人だけです。

「生まれ変わったら、もう一度、新田先生の生徒になりたいね」とそのお友達と10年前位に話していたことを思い出しました。初めて息子娘と寺子屋見学に行った時、僕が子供の頃一番優しくしてくれた近所のお爺さんのお葬式があったお寺であることに驚きました。

それから一年が過ぎ、坐禅や論語を学ぶために、真剣に通っている子供や大人がこんなにいるということ、警策の音が良い程それほど痛くないことに驚きました。また、仁の心、親孝行は世界中、どんな人達にも共感されることだと感じます。

最近、なぜか息子が私に「一番大切なもの知っている?」「私は全部大切だ・・・と逃げる」と7歳の息子は1番に「命」、2番「心」、3番「家族」そして「学校」などと話します。

実は一ヶ月前、88歳の父が大きな手術を終え、現在も入院中です。祖父を思う孫の仁の心、寺子屋論語塾に一緒に通ってよかったと実感しています。つく

### 塾 生 紹 介

かずまた しおり 数馬田 史織 さん (氏 名)	かずまた しゆん くん 数馬田 舜 君
江別市立中央中学校2年生 (学 校 名)	江別市立中央小学校4年生
英語 (好きな教科)	体育・算数
英語でテレビを見る (趣 味)	サッカー・水泳
小学5・6生の担任の先生 (尊敬する人)	おじいちゃん(元札幌月寒高等学校校長)
(そ の 他)	

ピアノを習って11年。特技はそろばんで目標の6段を小6で取得。中学校では陸上部に所属し、1年時に短距離のリレーで全道大会に出場。オムライスが好きとのこと。「4月生まれのしっかり者で、小さい子たちの面倒をみるのが得意」とお母さんが話してくれました。

特技は暗算で2段、そろばんは2級。好きな食べ物はラーメンとハンバーグとのこと。将来はサッカー選手になるのが夢だそうです。お母さんは舜君のことを「大好きなこと、やりたいことには猪突猛進(周囲のことを余り気にせず一つのことに向かって突き進む)するイノシシ年」とコメントしてくれました。

#### (先生からのコメント)

史織さんは最近になって、更に論語の内容がわかってきたとのこと。舜君は坐禅が少し苦手けれども、論語の素読は楽しく、新田先生の説明も少しずつわかってきたとのこと。嬉しい限りです。

二人のご両親は、共に高校の先生をされていて、多忙の中、江別から参加してくれています。

史織さんが私に、「明るい性格なのですが、色々あった時、ネガティブになって悪い方に考えてしまうので、良い方に考えるように努力するようにしています」と話してくれたことが、とても印象に残っています。

舜君の尊敬しているおじいさんは、私も尊敬している方です。平成16年度の第48回全道高校弁論大会の開会式で「言葉は命の発動であり、魂の息吹である」と毛筆で書かれた挨拶文をもとにお話しされたこと、今も鮮明に覚えています。聴衆の中には、メモされていた方も何人かおりました。私もその一人です。

※来月(7月)は市澤 一輝君と武田 静さんの塾生を紹介します。